八王子市立第四、第十小学校

放課後子ども教室　囲碁教室だより　十二号　2017 年 8 月号
編集　　成田　滋　shigerunarita@gmail.com

保護者の皆さんへ。いよいよ夏休みです。いろいろな計画をご家族で考えていることでしょう。子供にはお爺ちゃんやお婆ちゃんとしばらく一緒にすごすことができますね。お年寄りには孫の顔を見るのが一番の楽しみです。元気で成長している姿を見せることがなによりの親孝行となります。

■ 9 月は囲碁教室の予定です。いつでも教室にお立ち寄りください。

●第四小学校　9 月 1，8，15，　23，　30 日 (水曜日午後 2 時 30 分)
　場所：三階　児童会室

● 第十小学校：9 月 4, 11, 18, 25 日
(月曜日午後 3 時
　場所：一階　家庭科室

● 囲碁祭りの開催

10 月 21 日と 22 日は、大和田市民センター祭りです。両日は子供と大人の囲碁祭りを私が所属する大和田囲碁同好会と碁苦楽倶楽部、H2O、そして放課後囲碁教室の四者で囲碁祭りを開きます。初めての囲碁から対局まで楽しめます。会場は、センター三階の談話室です。親子連れでおこしください。

第一話　親睦会とポトラック

今は、マンションやアパートで生活するのが当たり前となりました。若い人は駅に近いとマンションを選び、高齢者は持ち家の維持や買い物が大変なのでマンションに移り住んでいます。このような住環境の変化は住民の横の繋がりを疎遠にしています。「向こう三軒両隣」は死語になりつつあります。

私は昨年、40 世帯が暮らす自分のアパートで始めて親睦会を主宰しました。この集まりのために幹事のわたしたちは管理会社から飲みものを提供してもらい、組合の管理費から数万円を支出し焼き肉の材料の買いだしをしたり、アパートに住む全ての子供へのお土産を用意することでした。町内会の自主防災組織からは長椅子とテーブルを借りました。

参加する世帯は 6 人分の一品料理を持参するというものでした。20 世帯が参加したので 20 の料理を楽しむことになりました。いわばヴァイキングスタイルの親睦会です。このような持ち寄りの親睦会は、準備が楽でしかも住民が膳を持ち寄ることで対話がはずむのです。英語ではこうした親睦の食事会をポトラックと呼びます。

佐伯泰英の時代小説**「酔いどれ小籐次」**にもこうした光景が登場します。短く紹介しましょう。江戸は鎌倉河岸の大店から角樽と初鰹が新兵衛長屋に住む主人公の小籐次に届けられます。小籐次が鰹をさばこうすると長屋の住人勝五郎が声をかけます。

勝五郎　「酔いどれの旦那、井戸端に長屋中の膳を持ち出して、全員で涼みながら酒を飲むってのはどうだ」

小籐次　「悪くない趣向じゃな」

新兵衛長屋の空き地に筵が敷かれると、住人が夕餉に用意していた膳を銘々抱えて筵の上に並べ、あちこちこちらに行灯が置かれて蚊遣りが焚かれます。

長屋の住人　「お祭りの縁日のようだな」

そこにすっかり惚けてしまった新兵衛が娘のお麻に連れられてきます。

お麻　「お父ちゃん鰹よ」

新兵衛　「ととか、ととじゃな、このととうまい、」

「とと」とは幼児語で魚のことです。惚けた新兵衛も住人に囲まれて初鰹と酒の相伴に預かるのです。

お子さんの行動などで気掛かりなこと、勉強の仕方や学習の進み具合で心配なことなどの相談に乗ります。もちろんボランティアです。